

運賃改定に係る住民・利用者等の意見募集結果

1 概要

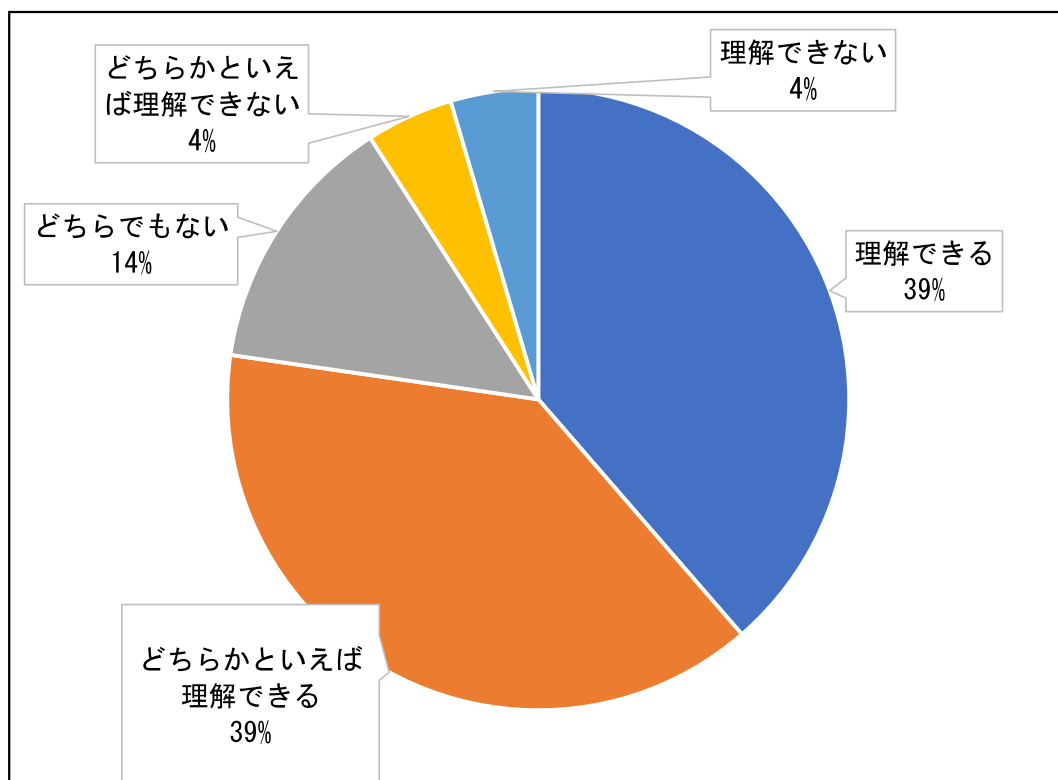
協議運賃の設定に係る協議に住民・利用者・その他利害関係者の意見を反映させるため、予め意見募集を行ったものである（道路運送法第9条第5項の規定に基づく意見募集）。

2 意見募集の方法

広島市ホームページにおいて、住民や利用者に対してウェブアンケート（令和6年11月25日から令和6年12月16日）を実施[※]するとともに、住民（町内会長等）に対して書面による意見募集を行った（※ 利用者の意見を反映させるため、バス車内においてウェブアンケートを周知）。

また、利害関係者の意見を反映させるため、運行ルートの一部が重複するバス会社及び運行ルート周辺のタクシー事業者に対して、書面による意見募集を行った。

3 運賃改定に関する意見（問：運賃改定について、どう思うか）（N=44）



●運賃改定について、「どちらかといえば理解できない」又は「理解できない」と回答した理由（明らかな誤字脱字等以外は、原文のまま記載している。）

- ・諸物価が高騰している。更に拍車がかかり家庭への影響がある。
- ・料金が高すぎです（泣）。

●阿戸線に関するその他の意見

参考資料2参照

阿戸線に関するその他の意見

参考資料 2

項目	主な意見（明らかな誤字脱字等以外は、原文のまま記載している。）
物価高騰やドライバー不足など、社会情勢を理解できるから （2件）	● 人件費、燃料等の値上がりのため、やむを得ないとは思いますが、出来るだけ圧縮して欲しい。 ● 現状※は理解するが、運賃が高くなり、さらに便数が少なくなると、益々利用しにくくなる。 ※ WEB アンケート説明文の「阿戸線は、人口減少や少子高齢化に加え、モータリゼーションの進展や昨今の燃料費、物価の高騰などにより厳しい状況になっている」を指すものと思慮される。
バスがなくなると困るから （10件）	● 病院、買い物等でなくてはならないため継続してもらいたいの。 ● 存続をお願いします。 ● 生活に欠かせない路線。今後はそれが色濃くなるといいますので、今後とも運用よろしくをお願いします。 ● 高齢化で買物や病院に交通機関は必要なので運賃改定は理解できるが、なるべく値上げ額を少なくして欲しい。 ● 人口減少により利用者数の減少から厳しい状況にあると思うが、何とか継続運行をお願いしたい。 ● 最大 80 円の値上げは利用者にとっては非常にきびしいと思うが、8 人乗りのバスが満席になることも少なくこの路線を維持するには仕方ないとも思う。高齢化が進みバスが生活に欠かせないものとなると思われるが、次回の改定がされないよう対策をお願いしたい。 ● いずれにしても廃止だけはさせてはいけません。（熊野町の）東部地区に人が増えるよう継続を願います。 ● これ以上、減便されると通勤に支障がでるので、本数の維持をお願いします。そのためにも、運賃改定は仕方がないと思います。 ● 広島市内のバス運賃が値上げするという中で、阿戸線も運賃値上げというのは自然の流れであり、必然的なものであると感じる。 ● 頻繁に阿戸線を利用しているわけではないのですが、生活用の交通手段として必要としている人々のため、路線を維持のために料金をあげることは必要なことだと思います。
運行内容に対する意見（増便、乗継の改善など） （6件）	● 阿戸線の日中便を増やしてほしいです。 ● バスの本数が少ないので増やしてもらいたい。乗り継ぎが上手く出来るように時刻表を見直して頂きたいと思います。今の時刻表だと乗り継ぎが間に合わず次のバスが来るまで長時間待つ事が多いです。 ● 熊野営業所から乗り継ぎに不便を感じる。 ● 朝夕に運行の中型バスを見かけるが、乗っている人が少ないので【全日マイクロバス運行】さらに【全日「熊野営業所」または「団地西入口※安芸郡熊野町平谷」～「阿戸」方面への運行】が、効率のよい運行であり、利用客増加が見込めて良いと思う。 ● 理想論を語るのであれば、18時台、19時台、20時台にバスを1本追加して欲しいが、現状の乗車人数、需要を考えると困難であると思う。 ● 阿戸線と熊野線（広電バス）の乗り継ぎ（時刻表）がわかりにくいように感じている。
その他 （2件）	● 老人への割引券を出すなど考慮してほしい。 ● 現状の阿戸線は「萩原～熊野営業所」の広島電鉄の運行本数を補うという補完的な側面もあると考える。自身は主に熊野町役場前から熊野営業所の区間を利用するが、バスの利用者自体は少ないと感じる。18時以降の便では自身が乗る前での乗客が1、2人の場合が大半で、0人の時もある。これでは運行するだけで赤字なのではないかと感じてしまう。その反面、運行本数が減ってしまうのは困るのが本音です。広島電鉄のバスに乗り遅れた際の阿戸線は非常に助かる。例えば、熊野町役場前の停留所における最終便は20:15。だがそれ以降に阿戸線のバスが2本ある。熊野営業所まで行ければ、そこから矢野方面に行くバスは遅くの時間までであるので、このバス2本の重み、重要性を感じる。

（注釈）

- 回答を意見項目別に集計していること、また、その他の意見欄について空欄の回答者がいるため、意見の数の合計と回答者数は一致しない。